

白山消防団紹介



津市白山消防団長 渡邊 壽美男

当消防団は、昭和三十年の町村合併により、一町四村の消防団を一团に結団、白山町消防団として誕生し、火災はもとより毎年襲来する台風、豪雨などによる被害の軽減や予防活動に対応するため、歴代団長をはじめ、消防団幹部各位のご指導を受け、全団員が崇高な消防精神の上に立って、県下に誇る意気と経験のもとに一致協力して、警戒活動や実践に努めてきました。

平成十八年一月の十市町村の合併により、津市白山消防団と名称は変わりましたが、先輩方が築いて下さった歴史と伝統を継承し、団員が一丸となつて、人命安全を第一義と考え、いっそう努力していく所存でございます。

白山町は、津市の西部に位置

し、町の西部は青山高原などの七百メートル級の山々によって布引山脈を形づくり、河川は中央部を流れる雲出川に合流し、沿岸には肥沃な耕地が開け、集落が形成されている農山村地域で、山間部から平坦な丘陵地など様々な地形をなしています。



訓練風景



当消防団は日夜、火災や風水害などの様々な災害を想定して実践的な訓練を行っています。また、大地震がいつ発生するかわからない今日、住民の安心・安全を守るため、平成十六年一月から新たに救護隊を充足させ、全団員が救命活動を行えるよう取り組んでいます。自らの郷土は自らで守るという精神で、今後も安心して暮らせる地域づくりを目指します。

優良危険物関係事業所 消防庁長官表彰を受賞

東京都千代田区のスクワール麹町において、六月五日に平成十八年度危険物安全大会が開催され、津市高茶屋小森町にある井村屋製菓(株)の長谷川宣彦工場長が出席し、平成十八年度優良危険物関係事業所消防庁長官表彰を受賞しました。この表彰式では、井村屋製菓(株)をはじめ、全国で三十一の事業所が表彰されました。

当事業所においては、自主的かつ積極的に危険物の安全管理に努められるとともに、危険物行政の推進に協力された功績を称え、今回の受賞となりました。

平成18年度危険物安全大会



表彰状を手にする

井村屋製菓(株)の長谷川工場長

津消防団南部方面隊 機関員訓練を実施

津消防団南部方面隊の団員が、それぞれの仕事を終えた後、中消防署に参集し、木下榮雄方面隊長の指揮のもと、二十一名称機関員訓練を行いました。

訓練内容は、消防団車両で消火栓や防火水槽に水利部署しての、吸水・放水活動の基本的な動作の確認と的確かつ迅速に消防団活動が行えることを目的として実施されました。



放水始め～(下)

(上)消火栓に部署

降りしきる雨の中、それぞれの団員たちは、「自分たちの街は自分たちで守る」を胸に、終始熱心な表情で訓練に取り組んでいました。